

しゅっ せ いな り
出世稲荷
(鏝阿寺境内)

足利義兼が鏝阿寺境内に邸稲荷として建てたもので、足利尊氏も祈願し、足利氏を支えた稲荷である。境内には、出世(しゅっせ)稲荷堂のほか、校倉造りの宝庫、義兼の妻を祀る蛭子(ひるこ)



堂、大酉(おおとり)堂などがあります。また、稲荷堂脇には、小さなおきつね様がおり、そのおきつね様を持ち帰り、願いが成就した後、おきつね様を倍にして帰すという風習があったといわれています。

日本にある稲荷神社は2万社とも3万社とも言われており、屋敷神として企業のビルの屋上や工場の敷地内などに祀られているものまで入れると稲荷神を祀る社は無数と言って良いほどの数になる。江戸時代には、江戸に多い物として「火事 喧嘩 伊勢屋 稲荷に犬の糞」というやり言葉があったほどである。本来は穀物・農業の神であるが、現在は産業全般の神としても信仰されています。

■所在地/足利市家富町2220

■電話/0284-41-2627

■アクセス

JR足利駅から0.7km、徒歩7分

東武足利市駅から1km、徒歩10分



出世稲荷(鏝阿寺境内)